妖怪影絵劇
ゲゲゲの鬼太郎

変幻自在の妖怪たちが、「





妖怪影絵劇 ゲゲゲの鬼太郎　～あらすじ～

怪しげなおじさんに、骨董屋に鏡を持っていくように言われたユ
にあるいろいろなものに興味深々だが、そんな中、店の隅に座っ
ユウトは、人形となにやら話はじめるが、持ってきた鏡が突然光を
吸い込まれ不思議な空間に投げ出されます。そこで、出会う不思
まれていくユウト。しかし、妖怪たちが欲しがっているのは人間の
トを助けようと鬼太郎と仲間たちが立ち上がります。自分も妖怪
人間たちの味方をするのか？ユウト（人間）と鬼太郎（妖怪）の心

妖怪影絵の魅力

動物の皮を使った影絵劇は、その表現の豊かさ、面白さからアジアを中心に広く世界に伝わっています。水牛の皮を用いたインドネシアのワヤン、トルコやギリシャでは、ラクダの皮を使ったカラギョーズなどが有名ですが、2011年ユネスコ世界無形文化遺産に登録された中国の皮影戯（ピーインシー）が、その起源ともいわれています。劇団影法師では、30年前よりこの皮影戯（ピーインシー）の公演を続けておりますが、今回この妖怪影絵「ゲゲゲの鬼太郎」の舞台では、この技法を高めた独特の影絵世界を作り上げています。





■プログラム　**上演時間：80分**（休憩含む）

妖怪影絵劇「ゲゲゲの鬼太郎」…50分
休憩……10分
不思議な音のワークショップ…20分

学習発表会のヒントになる、不思議な音の体験ワークショップ

劇中に使われる効果音。演劇の世界ではとても重要な役割を果たします。現在は本物の音もよく使いますが、本物を超える素晴らしい効果音もあります。想像力が生みだす音を皆さんに体験して頂きたいと思います。



妖怪影絵劇「ゲゲゲの鬼太郎」



※公演終了後、不思議な世界のバックステージ見学あり。（影絵の仕組みをのぞいちゃおう!）

